



学校だより



青梅市立東小中学校
令和8年度 第3号
令和8年6月30日

ものづくり・おしゃれ村での活動・・・感謝の心を育む

小学校副校長

6月21日の夏至を迎えたものの、肌寒い日が続きました。体調管理には十分気をつけたいところです。本校の特色ある教育「ものづくり」の授業でも夏野菜の栽培が本格的に始まっています。毎年のことですが、夏の暑さの中、子供たちは、黙々と一生懸命に農作業に励んでいます。熱中症が心配な時期でもあり、十分な水分補給を行いながら土に親しみ、自然の恩恵を感じながら良い汗をかいています。虫が苦手な子供たちも、土に触れることの楽しさや収穫の喜びを体感しています。じゃがいもはすでに収穫し、ゆでただけのじゃがいもを試食しました。自分たちで育てたじゃがいもは格別だったようです。作物の成長を目の当たりにして、食べること・食べられることの幸せも感じたことと思います。トマト・枝豆・キュウリなどの夏野菜の成長とともに、農作業に地道に取り組む子供たちの心が豊かに成長することを願います。

小学校では、6月15日(月)に稲作体験活動、田植えを行いました。青梅総合高校の先生2名が特別講師として来てくださり、田植えだけでなく、お米作りの大切なことを学びました。気温や日照時間がお米には重要であることとともに、愛情をかけて植物とかかわることで、美味しく育つとか…何より、皆さんが工夫をしながら、田植えを行っていたことに感心されていました。

ものづくりやおしゃれ村での活動を通して、大地のめぐみに感謝する気持ちとともに、日々の食事に多くの方々が関わっていることを実感し、関わってくださった方々へ感謝する気持ちが育まれることを願っています。

そして、感謝する心を育むとともに、将来は感謝される人になっていることを信じています。

小学生 芸術の春を満喫 演劇鑑賞教室・音楽鑑賞教室！

5月19日(火)は、「こころの劇場」へ行ってきました。こころの劇場は劇団四季のミュージカルに無料で招待してくれるプロジェクトで、本校の小学生は毎年参加させてもらっています。今年度の演目は「はじまりの樹の神話」でした。物語の山場では緊迫した戦いのシーンがありましたが、最後には心通う温かな場面へと展開し、ドキドキや感動で大満足の鑑賞教室となりました。

また、この日の午前には会場近くにある「コニカミノルタサイエンスドーム」に寄りました。科学を体験的に学習することのできる施設で、短い時間でしたが子供たちは精いっぱい楽しんでいる様子でした。

6月12日(金)は、福生市民会館大ホールにおいて、東邦音楽大学管弦楽団による演奏を聴きました。指揮者の伊藤翔さんによる曲の紹介では、作曲家がその曲にかけた思いや、時代背景を紹介していただき演奏を聴くときに情景を思い浮かべながら聴きました。オーケストラが使用している楽器の紹介では、一つ一つの楽器についてとても丁寧な説明がありました。学校では見たことのない楽器ばかりでした。そんな普段見ることのない楽器から、大人数で奏でられる音色を感じることができました。また、会場にいるみんなで「ビリーブ」を歌いました。会場いっぱいに広がる自分たちの歌声に、感動したものです。

音楽や演劇などの芸術を直接肌で感じる体験は、情操教育においてとても重要です。こうした経験を通して、豊かな感性や人を大切に思う心を少しでも育てていけたらと思います。

学園・寮の先生方には、今回も様々な面で校外学習の実施にご協力いただき誠にありがとうございました。

学びと心の体験活動 ＝ 「盲導犬とのふれあい体験」 「点字体験」

5月28日(木)第1回学びと心の体験活動を行いました。盲導犬体験と点字体験の感想をご紹介します。

- ・今日の盲導犬体験を通してまず思ったのは、これからどこかで盲導犬を連れている人がいたら、何か助けがいるか聞いてみようと思いました。また、盲導犬は人と協力し、信頼を築いているんだと分かりました。それから、色々なものが少しずつ盲目の人に配慮されているけれど、この先もっと盲目の人が生きやすい世の中になってほしいとも思いました。自分も盲目を含む体が不自由な人の助けになりたいです。
- ・今回盲導犬と触れ合ってみて、3匹とも指示を聞いて動くこと、みんなを笑顔にしてくれたことを感じました。褒めたら笑顔になり、ダメな時はしっかり従い、パートナーと盲導犬はお互いを信頼していると思いました。
- ・私は、点字体験を通して、目が見えない人がどれだけ大変なのかを知ることができました。私は体験するまで、点字の打ち方、器具の名称、そして指の先で点字を読む難しさを知りませんでした。この難しいと思った気持ちを忘れずに生活し、自分にとって物事ができる・できないに関わらず、挑戦して過ごしていきたいです。
- ・目が見えない人が世界に30万人もいると聞いて驚きました。僕が生きてきたなかであまり見ないのに、そのような人が困っているんだとしりました。なので、将来の人生にそして、自分の人生の夢として生かしていきたいです。

道徳授業地区公開講座

有意義な意見交換会

6月10日(水)道徳授業地区公開講座を行いました。今年度は14名の学園職員、寮職員の皆様にお越しいただきました。ありがとうございました。意見交換会においては、「児童の気持ちを受け止めることで、自分の気持ちを言語化することができていた。」「安心して意見を言える環境であった。身近な命を考える良い機会になっていた。」「難しいテーマだったが、生徒一人一人が課題に向かい合うことができていた。」とのご感想をいただきました。これは、学校にとってとてもうれしい言葉です。

今後も道徳授業を通して、計画的に児童・生徒の「正しく判断し行動できる実践力を養う」「規範意識をもち、集団の一員として相手を思いやる豊かな心を身に付けさせる」ことを目標に取り組んでまいります。

講師として、多摩教育事務所統括指導主事 嶺井勇哉 様には、授業のご講評をいただきました。「様々な背景がある児童・生徒が課題と向き合っている姿を見ることができた。大人が子供にとっての教育環境になる。心を葛藤させ、心の変化に気づかせるための発問の工夫が大切。」とご指導いただきました。学校教育活動の中で、「その時、その場でどのような行動が適切であるか自分で考えて、決めて、実行する力＝自己指導力」を高めていきたいと思います。

野球部 関東少年野球大会 いざ全国大会へ！

6月11日(木)に関東少年野球大会に参加しました。茨城県に遠征をし、茨城学園と対戦しました。結果は25―5と、見事勝利を収めることができました。そして6月25日(木)に、準決勝と決勝を行いました。準決勝では、向陽学園に11―4で勝利をし、決勝戦では生実学校に負けてしまいました。関東少年野球大会は準優勝という結果を収めることができ、同時に、全国大会出場を決めることができました。これらは、それぞれが積極的に挑戦し、日々の練習で取り組んできたことを発揮することができたからこそ得られた結果であると感じます。また、野球部の最大の武器である「プラスの声掛け」を最後まで切らさなかったことは大きな収穫です。引き続き、気を緩めることなく野球部一同さらなる成長を目指していきます。

最後に、大会に参加するにあたってご協力いただいた学園・学校の先生方、本当にありがとうございました。全国大会でも誠明学園野球部の良さを発揮して頑張ってください。